

防災のための大湊 地域資源発掘プロジェクト

メンバー数：9名 活動場所：伊勢市
実施主体：大湊町未来づくり委員会
担当教員：近藤 玲介（教育開発センター）
活動年度：H28, H29, H30, R1

- ・ 大湊防P R動画編集
- ・ 大湊防P R動画撮影
- ・ 大湊防P R動画制作
打ち合わせ
- ・ 大湊地区防災訓練で防災
クッキング
- ・ 防災クッキング資料制作
- ・ 防災訓練打ち合わせ
- ・ 防災クッキング実験
- ・ 大湊海岸清掃
- ・ 大湊防P R動画制作の
ドローン撮影



<今年度の活動を振り返って(成果と課題)>

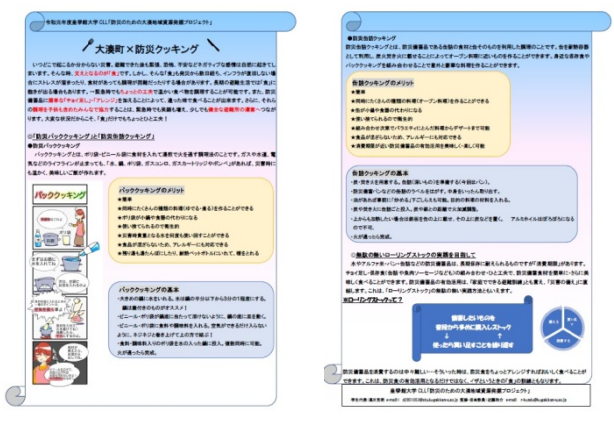
本活動は伊勢市大湊地区の歴史文化や自然環境を再発見するとともに、これらの地域資源を最終的に防災資源として活用し地域に提示することを目的として、平成28年度から継続的に活動しています。本活動では、大湊町振興会を拠点としながら皇學館大学、三重大学などの学生が連携し、各種専門的なものを含むフィールドワークを通して大湊の個性を知り、学生という立場から把握します。学生の視点で得た情報を大湊地区の方々に還元することで、地域の防災力向上に向けた活動を目指しています。

今年度の大湊地区防災訓練では、CLL学生発案による「防災クッキング」の展示と実演を行いました。災害時は物資も限られ、単調な避難食が続くことが予想されます。そこで、避難食にアレンジを加え、緊急時に少しでも豊かな食生活を旨とする事で健全な避難所コミュニティ形成に寄与することへの期待や、消費期限の近づいた防災食の有効活用と啓発を兼ね、アレンジレシピを考案しました。これらのアレンジレシピは、大湊地域の方々に実際に試食していただくと同時に、避難食やそのレシピなどに関するチラシを学生が作成し配布しました。チラシでは、四コマ漫画などを取り入れ、子供や高齢者方にも読んでいただけるように工夫し製作しました。

今後、昨年度以降継続して作成している防災情報と大湊の地域資源を統合したマップと、現在企画中である大湊のPV動画を作成し、大湊振興会のHPに掲載する予定です。また、大学生だからこそできる地域資源を使った児童向けイベントなどを開催し、子どもたちとともに学びながら、大湊のことを更に知り、地域に伝えていきたいと考えています。大湊を困む干潟の生態調査結果なども加え、総合的・多角的な大湊の地域資源を見出す活動を続け、より多くの地域住民に大湊の個性を知って防災につながるような活動を行いたいと考えています。

<特にアピールしたいポイント>

学校現場では地域の学びの向上が目指されています。地域の自然や歴史、文化にふれて地域を楽しみ、更に追究することではじめて地域理解につながることもあります。大湊には多くの自然・歴史資源があり、地域資源に目を向けることは「地域防災力」の向上につながります。それらをCLLで見出し地域に伝えることで、「大湊の誇り」を次世代につなげることができます。



CLL学生による防災クッキングブース(大湊地区防災訓練)

大湊地域向けに作成・配布した防災クッキングチラシ



防災パンをアレンジしたパンプティング



津波避難タワー



ドローンによる大湊空撮